

愛知県生涯学習推進センター情報誌

編集・発行/愛知県教育委員会生涯学習課 生涯学習推進センター

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号(愛知県東大手庁舎2階)

TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232 URL <http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>



INDEX[目次]

特集「生涯学習講座」	1
講座・講習会情報	4
イベント情報	7
ネットワーク機関紹介	12
ボランティア活動紹介	13
愛知万博ニュース	15
公民館活動紹介	17
生涯学習推進センターより	18

【犬山市子ども大学】

～さあ 始めよう「新しい発見」と「楽しい体験」～

犬山市では、平成14年の完全学校週五日制を契機に学校教育と生涯学習が一体となって、子ども達が学ぶ喜びを感じ、自ら学ぶ気持ちを育てることを目標に「子ども大学」を開設しました。

平成15年度は、子ども達が従来の学校では学習できない様な体験活動を通して達成感を味わいながら知識や技能を学ぶ「地域理解学科」・「からくり学科」・「原始人クラブ」等の14学科を市内各分野の専門家の協力を得て開催しました。平成16年度は、地域で子どもを育てる視点からNPOに委託し、「自己表現・発表」をテーマに開催します。

これからの健康づくりは「あいち健康プラザ」におまかせ！



電話：0562-82-0211

F A X：0562-82-0239

ホームページ：

<http://www.ahv.pref.aichi.jp/>

住所：〒470-2101

知多郡東浦町大字森岡字源吾山1-1

M a i l：ahvadmin@ahv.pref.aichi.jp

「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供して下さる生涯学習関連機関・団体で、随時募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>

健康で生きがいに充ちた長寿社会を実現するために、「あいち健康の森」の中心的施設として幅広い活動を繰り広げている「あいち健康プラザ」は、人生80年を明るく、前向きに楽しんでいただけるよう、あたらしい健康づくりを提案しています。

「健康開発館」は、「運動」・「栄養」・「休養」を健康づくりのベースに、目的にあわせて各種健康づくり教室や健康度評価を開催しています。各種運動施設のほかに、リラクゼーションルームなどがあり、健康づくりの実践をサポートしています。

「健康情報館」は、豊富な関連書籍やビデオなど、からだや心のことなどの正しい知識や情報を身につけ、健康づくりを推進するための総合情報ステーションです。

「健康科学館」は、健康の大切さを伝え、より健康的な生活習慣を築くためのお手伝いをしています。健康づくりに関する展示物は、どれも体験を通じて楽しみながら学ぶことができます。

「健康宿泊館」は、宿泊しながら企業研修・講演会・勉強会など、交流の場としてご利用いただけます。また、天然温泉「もりの湯」は、南紀白浜温泉や平湯温泉と同質の泉質で、入浴すると肌がスベスベになり、入浴後も保温効果が長続きます。

あ
い
ち
健
康
プ
ラ
ザ

「学びネットあいち」からのお知らせ

続々追加中！学習コンテンツのご紹介

「学びネットあいち」では、インターネット上で学習できる学習教材(学習コンテンツ)を提供しています。新たに追加された中からの2つをご紹介します。

ごみごみ探検隊(視聴覚教材コンクール優秀作品)
岡崎市視聴覚ライブラリー作成



【主な内容】

ごみはどこへ行って、どうなるのだろう？さあ、君も「ごみごみ探検隊」といっしょにごみの一生を追いかけてみよう！

西澤真蔵物語

とよたのむかしばなしビデオコンテンツ



【主な内容】

私財を投じて枝下(しだれ)用水の建設に力を注いだ西澤真蔵のお話です。彼は枝下用水の建設に何を見出して10年間も工事に情熱を傾けたのでしょうか。

ボランティア活動紹介

今回は東三河地区特集です。

キラキラ輝く瞳に出会って

「おはよう！お待たせ」と声をかけると図書館の「おはなしの部屋」の前で待っていた子供達や家族、様々な年令の方々が集まって来ます。「おはなしの会」が始まるまでの数十分間は、会員と子供達のコミュニケーションの場となり、いろいろな会話が飛びかいます。「うちゃんも手伝う」と言って、準備を手伝ってくれるうちゃんは、おむつをしている時から、お姉ちゃんと一緒に「おはなしの会」に参加している一番長い友達です。

1984年、「豊川おやこ文化の会」図書部の子育て中の11名のお母さん達により、子供達に「本の読み聞かせ、素話を通して想像力や言葉の文化を広め、心豊かな子供に育ててほしい」と願い、図書館で「おやこおはなしの会」が発足しました。現在、第1・4日曜日、第3土曜日(午前10時30分～11時)に豊川市立中央図書館内「おはなしの部屋」で行われています。会員は、「絵本が好き」「お話が好き」「子供が好き」という男性1名を含む8名です。語り方は、その人その人独特の味があり、生の声で語られるお話の世界はとても心地よく、30分間という短い時間ですが、とても幸せな空間です。内容は、絵本の読み語り・素話・童謡・手あそびが主ですが、行事に

より、エプロン・パネルシアター等も取り入れられます。

お話が始まると、子供達はキラキラした瞳で身動きもせず、お話の世界を楽しんでいます。また、ことばのリズムと一緒に口ずさんで楽しんだり、体を動かして表現してくれます。そんな子供達の姿に支えられ、私達は新しいお話に挑戦する勇気をもらうのです。

こんなお話の種が地域の公民館・市民館に広がり、第2土曜日にも「おはなしの会」が開かれています。その後も「おはなしの会の出前」として各小学校へ伺い、子供達や大人の心に蒔かれたおはなしの種が地域のお母さん達の力によって各小学校で「おはなしの花」が咲きだしました。

子供達がキラキラした瞳で「あ～楽しかった」と言ってくれたり、「ありがとう」と言いながら握手を求められた瞬間、「お話、聞いてくれてありがとう」と言って抱きしめたくくなります。二十年間続いている「おやこおはなしの会」は、多くの子供達や会員の仲間に支えられながら、「また、お話聞きに來てね」とキラキラした瞳の子供達を笑顔で見送りながら、「おはなしの会」を終えるのです。



おやこおはなしの会

代表者：梅村 賀代子
 活動場所：豊川市立中央図書館、
 市内公民館・市民館、
 小中学校
 連絡先：自宅または
 豊川市立中央図書館
 TEL：0533-85-3801

おもちゃを直しています

私たちのボランティアグループ「おもちゃ病院トントン」は、壊れたら捨てて新しいものを買えばいいという「使い捨て文化を見直すこと」と「物を大切に作るやさしい心、思いやりの心」を育てる活動をしています。また、壊れたおもちゃを直して使うことで、ゴミを出さない循環型社会も目指しています。

私たちの病院は、阪神淡路大震災の翌年の1月に、先輩ボランティアグループである「おもちゃ図書館」のおもちゃを修理するために発足しました。当初の開院場所は、豊橋市障害者福祉会館で、図書館のおもちゃのほかにも、一般からの修理依頼も受けていました。しかし、広い市内でするので、市の南部地区でも活動すれば、もっと多くの人の喜んでいただけるのではという思いがありました。そして、その年の12月からは、高師緑地内の生活家庭館でも活動を始めました。現在では、生活家庭館の方が活動の基盤となり、障害者福祉会館の方は、活動場所を替えて、豊橋市総合福祉センター「あイトピア」で開院しています。

「あイトピア」の開院日は、第1・3土曜日(祝日は除く)で、午後2時から4時まで、「生活家庭館」は、第2・4土曜日(祝日は除く)で、午後1時から4時までです。

その他、次の活動にも取り組んでいます。

・生活家庭館主催による「親子ふれあい教室」の講師及び補佐

昨年の内容は、「プロペラ飛行機作り」、「木工工作」、「ペットボトルロケット作り」、「木製からくり時計作り」の4回で、各教室とも20または、30組の親子の参加がありました。

・市の教育委員会主催による「吉田城夏祭り」での「リサイクルおもちゃ作り教室」の開催。昨年は、200名の子どもが体験活動をしました。

・市の主催する「リサイクルフェア」への出張開院

私たちの会の会員(ドクター)数は、入脱退はありますが、現在19名(内女性1)で平均参加会員数は、約6名/回です。おもちゃの修理状況ですが、年間入院数約300個です。そして、完治退院数は、約280個で、約1割は修理不能となります。理由は、部品が無かったり、私たちでは手に負えないIC等の修理の場合です。また、モデルガンやファミコンなどの修理は受け付けていません。修理費用は、部品交換の場合は有償となりますが、高くても500円以内で収まります。

最後になりますが、私たちのメンバーの7割は現役引退組ですが、まだまだ社会の役に立とうと張り切って活動しています。我をと思う方は、是非一緒にボランティアをしましょう。



おもちゃ病院トントン

代表者：越野 俊雄

活動場所：豊橋市生活家庭館、
豊橋市総合福祉センター

連絡先：代表者まで

T E L : 090-3934-2957

地域の人々との関わりの中で



藤村 裕子

活動場所： 渥美町内の学校、公民館、
空家

T E L: 0531-37-1048

ボランティア活動を始めて5年目に入ります。小学校での読み聞かせ、社会福祉協議会による高齢者宅への配食、宅老所、助け合い組織の仲間との地域サロン、ミニデイサービスに関わっています。その中で特に印象深い例は、1人住まいのKさんとの事です。配食に出向きいろいろ話をするうち、海外・国内各地で収集した玩具・人形・お面等、相当数の品々の事、「先行き心配で心残り、何処で引き取って展示してくれる所はないだろうか」との事。早速、小学校長に相談したところ、快く「空教室を使っては」との返事。後日、教職員一同で運搬・展示し、Kさんも学校へ招待され、子ども達と共に遊んだり、玩具の使い方を指導したりして楽しい日々を過ごすことができました。しかし、それも束の間、持病が悪化し、まもなく他界されました。Kさんが、どんなにか多くの玩具・人形達の事を気にかけていたか知っていたので、さぞかし安堵されていることと思います。この様にいろいろな事情をかかえている方々との出会いが私自身の将来に向けての生き方を教えてくださいます。高齢者だけでなく子育て支援にも多くの方が「できる時にできる事を」という気持ちで関わっていただきたいと思っています。



おもてなしボランティア募集！

愛知万博は、21世紀最初の国際博覧会にふさわしい市民参加型の博覧会をめざしており、幅広い県民の皆様の参加を呼びかけています。来場者にとって、県内の主要交通アクセスポイントは県内第一歩の出会いの場であり、開催地元として多数の来場者を温かいおもてなしのこころでお迎えすることにより、博覧会の成功と地域の発展につなげることをめざしています。

おもてなしボランティア活動は、シャトルバスターミナル駅、パーク&ライド駐車場および中部国際空港等の主要交通アクセスポイントで、来場者への博覧会や地域の情報提供、障害者・高齢者への支援、また、環境美化等の活動をしていただくものです。

多くの県民の皆様の参加をお待ちしています。



活動拠点		問合せ先	電話番号
シャトルバスターミナル駅	尾張瀬戸駅	瀬戸市役所国際博覧会推進課	0561-88-2541
	八草駅	豊田市役所国際博推進課	0565-34-6929
P & R 駐車場 (駐車場名は仮称)	尾張旭	尾張旭市役所万博支援室	0561-53-2111
	長久手	長久手町役場万博推進室	0561-63-1111
		長久手町役場万博推進室	0561-63-1111
	ながくて南	日進市役所産業振興課	0561-73-7111
		三好インター	三好町役場企画課
藤岡インター	藤岡町役場企画グループ	0565-76-2103	
空港	中部国際空港	常滑市役所商工観光課	0569-35-5111

子育てネットワークとして



武豊町での活動を紹介する前に、「子育てネットワークあいち」の話を少しします。この団体は、各自治体でそれぞれに活動しているネットワークが自主的に参加運営しています。“尾張”2ブロック、“三河”4ブロックで構成され、ほとんどの活動はブロック単位でなされ、「尾張総会」「三河総会」が全体の総括の場になっています。活動の主なものは、情報や意見の交換会・研修会・子育て支援のための講演会の開催などです。この団体の存在は、地域の活動での悩み解消のためにも、またネットワークの地位の確立のためにも重要なものだと思います。

子育てネットワークあいち
会長 梅原 泰世

活動場所: 武豊町立長尾児童館、
武豊町保健センター

連絡先: 武豊町教育委員会
生涯学習課

T E L: 0569-73-6106

F A X: 0569-73-2424

あらためて、武豊町で活動の紹介をします。主なものは長尾児童館での「親子ふれあいひろば」で、7年目になりました。当町での特徴は当日参加が可能なことです。そのため人数は多過ぎて大変な日もありますが、参加者には好評です。また、保健センターでの母親教室で講話をしています。どちらの会も、子供の就園前でも、お母さん方が地域での友人を作れるよう応援しています。

地域にねざした子育てを応援

豊山町には四人の子育てネットワークがあります。

ふだんは教育委員会が主催する乳幼児学級(年間20回)のお手伝いをしたり、個別に相談活動を行ったりしています。

とりわけ、私たちが力を入れているのが、お母さんたちの友だちづくり、ネットワークづくりです。核家族化が進み、地域とのつながりが薄れている現在、子育てに関する悩みやストレスを、自分ひとりで抱え込んでいるお母さんたちがたくさんいます。

保育園や幼稚園に入園すれば、同じような立場の友だちもできるのですが、その年齢に達していない子どもをもつ母親は、どうしても孤立しがちです。そのようなお母さんたちの話を聞き、新しい人間関係を見出すきっかけづくりをするのも、私たちの役目だと考えています。

子育ては、母親だけであるものではありません。父親はもちろん、隣近所をふくめた地域全体で行なうものです。子どもたちが健やかに育てば、その地域は明るくなるでしょう。そう考えると私たちは、「子育て」という窓口を通じて、住みやすい町づくりを手伝っているのかもしれないですね。



中村 里美

活動場所: 豊山町社会教育センター

連絡先: 豊山町教育委員会
生涯学習課

T E L: 0568-28-0001

F A X: 0568-29-1177

複合施設の中の公民館 パソコンルームと大学提携講座 ～ 知多市 ～

知多市中部公民館は、児童センター・男女共同参画センターとの複合施設“ふれあいプラザ”の一施設として平成12年4月にオープンしました。

市内5番目の公民館として、他の4公民館同様、地域の特性を活かした公民館事業を行いつつ、新しい施設にふさわしい特徴をもった事業展開に努めています。

パソコン開放でIT技術普及に一役

施設の一の特色として、パソコンを15台備えた学習室があり、個人学習の場として貸し出しを行っています。

文書作成・表計算など事務系ソフトを搭載し、ケーブルテレビによるインターネットにも接続。初心者の学習には十分な環境があり、各種のパソコン講座を実施しています。

今年度は、パソコン機器を入れ替え、ハード・ソフト両面で機能の向上を図り、有効に活用できる環境を整えました。

また昨年度から、定期的な相談日を開設。今年度は回数を増やして、IT技術の普及に努めています。



近隣大学との提携講座

市内には大学がなく、市民が公開講座など、身近で高度な知識を習得する機会に恵まれていません。そのため、近隣の大学の協力を得て、リカレント学習の一環となる講座を定期的に

実施しています。内容も健康、科学、福祉など幅広い分野にわたり暮らしに役立つ知識の向上を担っています。



総合イベント“プラザ祭”

毎年9月には、複合施設全体のイベントとして“ふれあいプラザ祭”を実施。公民館を利用する団体をはじめ、施設の各協力団体やボランティアの参加により、2日間様々な催しを繰り広げ、たくさんの市民の方でにぎわっています。



“市民大学”と新しい公民館の模索

従来公民館で実施してきた趣味・教養的講座は、15年度後期から市民組織による“市民大学ちた塾”にすべて移管しました。

教えたい人・学びたい人双方を募集して運営するこの市民大学の開講によって、公民館講座は、競合を避け、行政講座・子ども講座などを中心に実施。

今後、公民館事業はどうあるべきか。新しい時代の公民館のあり方を模索しているところです。

生涯学習推進センターからのお知らせ



子どもの居場所づくりについて話しています！

去る4月26日、生涯学習推進センターにおいて平成16年度第1回地域教育力・体験活動推進協議会が開催されました。この協議会は平成14年度から2年間にわたり開催され、地域の教育力を活性化し、奉仕活動・体験活動の充実を図るためのさまざまな意見が出され、モデル事業などの事例集とともに報告書にまとめられました。

(この報告書はインターネットで見ることができます。)

【生涯学習課のホームページ】

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/>

16年度は、「子どもの居場所づくり」についても協議されています。

愛知県では、市町村が設置する青少年体験活動ボランティア活動支援センターの整備を、県内全域で進めています。これに併せて「地域子ども教室」が県内で展開されるよう各市町村への働きかけ、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを支援していくこととしています。

【子どもの居場所づくり】 <http://www.ibasyo.com/>

「子どもの居場所づくり」とは？

社会全体で子どもを育てることを目的とした文部科学省の事業。学校施設などを子どもの「居場所」(活動拠点)として開放し、地域の大人の協力を得て、子どものためにスポーツや文化活動を展開する。その中心となるのが「地域子ども教室推進事業」。



地域子ども教室

平成16～18年度 緊急3カ年計画

- ・ 学校の校庭や教室等を子どもの居場所(活動拠点)として開放
- ・ 放課後や週末などの一定時間、子どもたちがスポーツや文化活動などの様々な体験活動を実施

地域の大人たちが指導ボランティアとして協力

愛知県生涯学習推進センター

開館時間

9:00～21:00

休館日

日曜・年末年始

電話

052-961-5333

FAX

052-961-0232

ホームページ

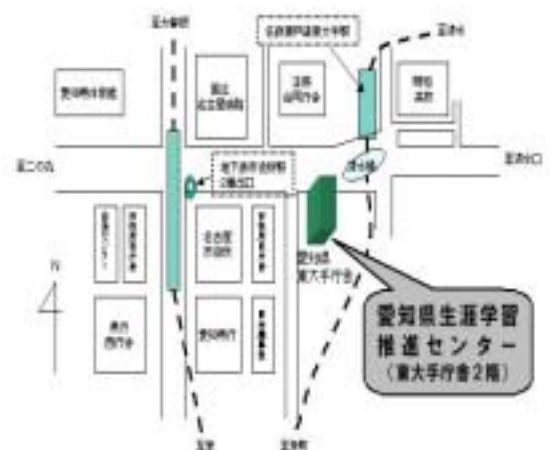
<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>

メール

syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

交通案内

地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩約3分
名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約4分
基幹バス「市役所」下車東へ徒歩約5分
駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。



東郷町町民交流拠点施設 イーストプラザいこまい館



【施設全景】



【運動浴室「アイリス」】



【健康づくりセンター内おもちゃルーム】

東郷町町民交流拠点施設「イーストプラザいこまい館」は、子どもから高齢者まで世代や地域を問わず多くの方の心と身体の健康づくりと交流を支援する拠点施設として平成16年4月、東郷町役場の東隣にオープンしました。

この施設は、「誰もがいつでも利用でき、人と人とのふれあいが始まるきっかけづくりの場」を基本方向に、コンセプトを「遊びと学びの郷、自然・健康・文化の森」としており、さまざまな機能を集約した複合施設です。

いきがいセンター内の運動浴室「アイリス」では、温水の特性(浮力、抵抗、水温、水圧など)を利用して、歩行浴や水中運動など関節に余分な負担をかけずに楽しみながら健康づくりができます。専属のインストラクターが常駐して各種の健康浴メニューを用意しています。

また、保健センター機能を有した健康づくりセンターやボランティアやNPO活動を支援する町民活動センターを始め、町の歴史に触れることのできる郷土資料館、昔の遊びを体験できる昔体験館、300席の可動席を有する多目的室、文化作品の展示ができる町民ギャラリーなどさまざまな施設を取り入れています。さらに、減少していく自然を住民の手で創出したビオトープで自然観察を行うこともできます。

開館時間	いきがいセンター：午前10時～午後9時 健康づくりセンター：午前8時30分～午後5時15分 その他：午前9時～午後9時
休館日	いきがいセンター：火曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始 その他：年末年始
入館料	運動浴室「アイリス」：大人500円、小中学生200円
電話	0561-37-5811
FAX	0561-37-5821
Mail	eastp@town.aichi-togo.lg.jp
URL	http://www.town.togo.aichi.jp/east/eastplaza_index.htm
住所	〒470-0162 愛知県東郷町大字春木字西羽根穴 2225-4



いきいきあいちっ子キャンペーン
イメージマーク

編集・発行 / 愛知県教育委員会生涯学習課 生涯学習推進センター
平成16年6月 8,000部発行
〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 電話 052-961-5333